

【コラム】やさしい日本語（にほんご）のすすめ

1. 多くの国の外国人住民が住んでいます

伊勢崎市には59か国13,484人の外国人住民が住んでいます。（2021年2月1日現在）

国籍が多様化している伊勢崎市で外国人住民が安全に安心して生活するには、地域のルールなどの生活情報や災害時の情報をきちんと理解することが必要です。

そこで、日本語が不慣れな外国人住民へ素早く的確に情報を伝える方法として効果的なのが「やさしい日本語」の活用です。

2. やさしい日本語とは何でしょう

「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のことです。

外国人への情報伝達において最もわかりやすいのは母語での情報提供ですが、翻訳には時間がかかり、全ての言語への対応は困難です。しかし、「やさしい日本語」であれば分かるという外国人は多くいます。

3. やさしい日本語のポイント

(1) 伝えたいことは先に整理しておく

①伝えるべきことを考え、不要な情報を除く（シンプルに）。

②優先順位の高い情報を並べる。

③必要に応じて補足情報を加える。

(2) ゆっくりはっきりと発音する

会話で伝えるときは「ゆっくり」「はっきり」「身ぶり・手ぶり」を意識して言うとわかりやすいです。

【コラム】やさしい日本語（にほんご）のすすめ

(3) ひとつの文章は短く簡単に

✕ごみを出すときは、指定の袋に入れ、指定の曜日、時間に出してください。

○ごみは決められた袋に入れて出してください。

ごみは決められた曜日と時間に出してください。

(4) 難しい言葉や専門用語を使わない

✕記入する ⇒ ○書く

✕配布する ⇒ ○配る

(5) 外来語は意味や発音が違うことが多い

✕キャンセルする ⇒ ○やめる

✕サポートする ⇒ ○助ける

(6) あいまいな表現を使わない

✕「月曜日の午前9時くらいに来ます。」

○「月曜日の午前8時30分から午前9時30分までに来ます。」

(7) 漢字は少なく、漢字にふりがなをふる

○区費を払います。

○区費（くひ）を払（はら）います。

(8) 時間や年月日は伝わりやすく

✕8時30分～17時 ⇒ ○午前8時30分から午後5時まで

✕令和3年1月1日 ⇒ ○2021年1月1日